

7.14
sun

奇跡の歌声との素晴らしいハーモニー

岡本知高さんと中学生が共演

ソプラニスタ岡本知高さんのコンサートが文化会館で開かれ、宝城中合唱部47人・三国中コーラス部31人が震災復興を願って作られた「ほらね」を岡本さんと合唱しました。

共演した中学生は約1か月半練習を重ね、本番では混声3部合唱と岡本さんの声が素晴らしいハーモニーを奏でていました。

共演した田中星来さん(三国中3年・コーラス部部长)は、「一緒に共演できてうれしかった」と話し、中原瑞希さん(宝城中3年文化委員長)は、「緊張したけど、楽しかった。辛いことがあっても前向きに頑張ろうと思った」と話しました。



7.16
tue

7.22
mon

海を越えての心の交流

こども大使がホームステイ

アジア太平洋こども会議・イン福岡に参加したこども大使7人と引率者2人(バヌアツ5人、中国3人、ネパール1人)が小郡市のホストファミリーの家にホームステイをしました。

子ども大使は埋蔵文化財調査センターでホストファミリーと一緒に勾玉を作ったりしたほか、市内の小学校と一緒に登校し、授業を受けたりするなど、ホストファミリーだけでなく、地域の人たちとの交流を深めました。

別れの日には、小郡で過ごした日々を思い出し、涙を流して別れを惜しむ姿も見られ、ホストファミリーと何度も抱き合い、再会を誓いました。



野菜からの素敵な贈り物

染色体験

7.19
fri

女性の学びのグループ「小郡なでしこ会」(会員24人)が、小郡交流センターで、田箆みつえさん(翔工房主宰)から身近な天然素材であるたまねぎの皮を用いた染色の指導を受けました。

2時間ほどで完成したストールに、会員は、野菜で、調理の際捨ててしまうものから素敵な風合いが出ることに感動し、それぞれに模様をつけて完成したストールを首に巻いて大変喜んでいました。



大人が変われば子どもも変わる

青少年シンポジウム

7.15
mon

文化会館大ホールで青少年シンポジウムが行われ、「100ます計算」など陰山メソッドで知られる陰山英男さん(立命館大学教授)が「親が伸びれば子も伸びる」という演題で講演を行いました。

陰山さんは、「子どもたちが幸せになるためには、基礎的な学力は必要だが、高ければいいというものではなく、子どもたちが社会的に自立することが必要」と話されました。

講演後には、市内の中学生6人と大人代表3人によるパネルディスカッションが行われ、小郡への思いを話し合いました。

※シンポジウムは全国モーターボード競争施行者協議会からの拠出金を受けて実施しました。





東野旋風を巻き起こせ

小郡東野サッカークラブ 九州大会出場

全日本少年サッカー大会県大会で、小郡東野サッカークラブ(監督 石丸雅史さん)が準優勝し、8月に宮崎県で行われる九州大会への初出場を決めました。

昨年は3位で、今回は優勝を合言葉に全力を尽くしましたが、決勝戦で0-1と涙をのみました。選手たちは、すでに「九州チャンピオン」という新たな目標に向かって練習に励んでいます。

キャプテンの和田尚也くん(三国小6年)は「チームの持ち味のチームワークで、九州チャンピオンを目指します。そして、九州大会では、大暴れをして、東野旋風をおこし、名前が知れ渡るように頑張ってきます」と抱負を語りました。



初めて掴んだ全国へのキップ

空手道全国大会出場

第32回福岡県少年空手道選手権大会で、鳥越泰斗くん(のぞみが丘小5年:写真左)が「個人組手の部3位」、梶原大河くん(筑陽中3年:みくにの団地)が「個人形の部6位」という好成績を収め、8月に宮城県で開かれる全国大会に出場することを、平安市長に報告しました。

厳しい練習や怪我を乗り越えて初出場をつかみ取った二人に、平安市長は「ぜひ頑張ってください」と激励しました。

全員野球で優勝を目指す

みくに野ハニーズ 全国大会出場

小郡市野球連盟に所属するみくに野ハニーズ(監督 正野勝規さん)が、第17回県学童春季軟式野球選手権大会で優勝し、7月26日から和歌山県で行われる第18回高野山旗全国学童軟式野球大会に福岡県代表として出場します。

みくに野ハニーズは、4年前の高円宮賜杯第29回全日本学童軟式野球大会以来の全国大会出場となります。正野監督は「選手がそれぞれの力を存分に発揮する全員野球が持ち味。まずは初戦を突破すること」、キャプテンの今村駿吾くん(のぞみが丘小6年)は「お互いに声をかけあえるチーム。全国大会では、まずは初戦を突破することが目標。初戦を勝って優勝を目指します」と抱負を語りました。



夢は世界王者

空手道国際大会優勝

5月に米国・シアトルで開催された空手道の国際大会(第45回ワシントン州国際オープン空手道選手権大会)に、西竜廣くん(宝城中1年)が出場し、組手の個人戦で3位、団体戦で優勝しました。

大会には、アメリカ・カナダ・中国などから約400人が参加し、トーナメント戦の結果、技術で優勝を勝ち取りました。

「将来の目標は世界王者」と話す西くん、今後の活躍が期待されます。

